

2026年度 データヘルス計画（保健事業費の算出内訳及び事業概要）

別紙

	種目	共催等	実施 時期	予算額及びその算出基礎	事業内容の概要等
特定健康 診 査 事 業 費	1. 特定健康診 査		毎月	①被保険者 @7,150円 × 19,559人 = 139,846,850円 ②被扶養者 @7,150円 × 5,994人 = 42,857,100円 ① + ② = 182,703,950円	40歳以上の全員に対し 特定健診を実施する。 尚、受診方法は、特定健 診項目を含む被保険者 は人間ドック、被扶養者 は家族健診若しくは人 間ドックを受診する。
	2. 基金代行事 務費・受診 券		毎月	@250円 × 60件 × 12月 = 180,000円 1. + 2. = 182,883,950円	
特定保 健 指 導 事 業 費	1. 特定保健指 導		毎月	①被保険者 イ. 積極的支援 @27,500円 × 1,117人 = 30,717,500円 ロ. 動機づけ支援 @9,290円 × 947人 = 8,797,630円 イ. + ロ. = 39,515,130円 ②被扶養者 イ. 積極的支援 @27,500円 × 38人 = 1,045,000円 ロ. 動機づけ支援 @9,290円 × 89人 = 826,810円 イ. + ロ. = 1,871,810円 ① + ② = 41,386,940円	動機づけ支援、並びに積 極的支援に該当した者 に対して、それぞれ支援 を実施する。
	2. 会場費・指 導教材等		随時	①指導書等 @275円 × 120部 = 33,000円 ②指導案内 @10 × 150枚 × 12月 = 18,000円 ① + ② = 51,000円 1. + 2. = 41,437,940円	
保 健 指 導 宣 伝 費	1. 広報出版物 の配布		毎月	①「健保だより」の発行 @10,000円 × 12月 = 120,000円	健康意識の高揚、健保事 業の情報発信に機関紙 を発行する。 前期高齢者の医療費削 減を目的に、健康冊子を 対象者に配布する。
			随時	②前期高齢者用健康冊子の配布 @250円 × 700冊 = 175,000円 ① + ② = 295,000円	
	2. 禁煙推進サ ポート		随時	禁煙外来受診補助 @10,000円 × 15人 = 150,000円	禁煙外来受診者等に費 用の助成を行う。

	種目	共催等	実施 時期	予算額及びその算出基礎	事業内容の概要等	
保 健 指 導 宣 伝 費	3. 健診後フォローの実施		毎月	①保健師活動の実施（交通費含む） @10,000円 × 12月 = 120,000円 ②指導用テキスト代 ① + ② = 240,000円	健診受診後のフォローの一環として保健指導を行う。また健康意識の高揚を図る。	
	4. 健康講話の開催		随時	①健保主催 @100,000円 × 1回 = 100,000円 ②費用・資料助成 @50,000円 × 15箇所 = 750,000円 ① + ② = 850,000円	単独開催の難しい事業所等に対し、健康講話を主催する。 生活習慣改善等、健康に関する講演会に関し、助成を行う。	
	5. メンタルヘルスサポート		随時	メンタル専任産業医雇用経費 @56,000円 × 12月 = 672,000円	精神科産業医の顧問契約費用	
	6. 医療費適正化対策		毎月	①支給決定通知の配布 @7円 × 500件 × 12月 = 42,000円 ②医療費通知の配布 @15円 × 500人 = 7,500円 ③レセプト点検の実施 @180,000円 × 12月 = 2,160,000円 ④柔整リーフレットの配布 @22円 × 2,500部 = 55,000円 ① + ② + ③ + ④ = 2,264,500円	現金給付・健診助成金該当者に配付する。 年間医療費通知を希望者に配付する。 システムベンダーによるレセプトの内容点検を実施する。 接骨院・整骨院の正しい受療方法を受領者に周知する。	
	7. ホームページの運用		随時	年間維持保守管理料 715,000円	健保制度周知のため、社内向・一般向ホームページを運用する。	
	8. データヘルス計画		随時	データ分析・情報提供料 100,000円	国の指針に基づき、各種データの分析、情報提供を行う。	
	9. PHRサービスの運用		毎月	PHRサービス（健康アプリPep Up）の運用 @198,000円 × 12月 = 2,376,000円 1.+2.+3.+4.+5.+6.+7.+8.+9. = 7,662,500円	健康アプリPep Upをスズキ(株)で実施（費用はスズキ(株)へ請求）	
	1. 健康診断	事業主と共催				早期発見・早期治療による医療費の削減、健康意識高揚のため実施する。
	(1)人間ドック		毎月	①人間ドック費用(特定健診分7,150円除く) @32,850円 × 19,559人 = 642,513,150円	40歳以上の被保険者全員を対象に実施する。	

	種目	共催等	実施時期	予算額及びその算出基礎	事業内容の概要等
疾病 予 防 費	(2) 歯科健診		毎月	②40歳未満の希望者 @20,000円 × 20人 = 400,000円	40歳未満の被保険者で希望者に実施する。
	(3) 家族健診		毎月	③海外駐在員40歳未満 @40,000円 × 100人 = 4,000,000円 ① + ② + ③ = 646,913,150円	40歳未満の駐在員に実施する。
			毎月	歯科健診費用 @5,500円 × 13,006人 = 71,533,000円	40歳以上の被保険者全員を対象に実施する。
			毎月	①家族健診・家族ドック費用(特定健診分除く) @9,850円 × 5,904人 = 58,154,400円	40歳以上の被扶養者全員を対象に実施する。
				②40歳未満の人間ドック希望者 @20,000円 × 15人 = 300,000円	40歳未満の被扶養者で希望者に実施する。
				③海外駐在帯同配偶者40歳以上の人間ドック(特定健診分7,150円除く) @32,850円 × 90人 = 2,956,500円	40歳以上の帯同配偶者に実施する。
				④海外駐在帯同配偶者40歳未満の人間ドック @40,000円 × 40人 = 1,600,000円 ① + ② + ③ + ④ = 63,010,900円 (1) + (2) + (3) = 781,457,050円	40歳未満の帯同配偶者に実施する。
	2. 検診	事業主と共催			
	(1) 二次検診		随時	被保険者分 @400円 × 30人 = 12,000円	定健等の精検、観察者の検査費用を負担する。
	(2) 婦人科検診		毎月	婦人科検診費用 @5,500円 × 1,750人 = 9,625,000円 (1) + (2) = 9,637,000円	女性被保険者の希望者に実施する。
3. 救急医薬品の斡旋配布		7・12月	①案内・送料 @550,000円 × 2回 = 1,100,000円	応急処置用として家庭常備薬を斡旋配布する。	
		12月	②健康者へのインセンティブ @1,500円 × 350人 = 525,000円 ① + ② = 1,625,000円	40歳以上の1年間無受診世帯に健康表彰を行う。	
4. ジェネリック医薬品		6・10・1月	案内・処理・年間契約料 1,320,000円 1. + 2. + 3. + 4. = 794,039,050円	切替案内を年度3回対象者に配布する。	
体 育 奨 励 費	1. ウォーキング助成		随時	①費用助成 @500円 × 500人 = 250,000円 ②ウォーキングパンフレットの配布 @200円 × 200人 = 40,000円 ① + ② = 290,000円	職場開催のウォーキングに、助成を行う。 参加する被保険者に、継続のためのパンフレット配布を行う。